

□ 要請番号 (JL56919B17)

募集終了



国名	職種コード 職種	年齢制限	活動形態	区分	派遣期間	派遣隊次
カメルーン	G102 環境教育	20～45歳のみ	個別	交替 4代目	2年	・2020/2 ・2020/3

【配属機関概要】

1) 受入省庁名 (日本語)

初等教育省

2) 配属機関名 (日本語)

ジャ・ロボ県初等教育事務所

3) 任地 (南部州ジャ・ロボ県サンメリマ市) JICA事務所の所在地 (ヤウンデ市)

任地からJICA事務所までの交通手段、所要時間 (バスで約3.5時間)

4) 配属機関の規模・事業内容

県内の幼稚園及び小学校を管轄する初等教育省の県事務所で、運営指導、教育課程・計画の作成指導、教育統計の作成、教員の研修等を行っている。日本は、生徒数の増加に対する教室の不足および過密状況の深刻化の緩和、教育へのアクセス拡大を目的に、無償資金協力によって1997年より全国で小学校建設を行った。県事務所が管轄する学校数、小学校316校、幼稚園131園。2019年度、初等教育省の予算は約4000万円で、各県事務所がそれを分割している。職員数14名。JICA海外協力隊(小学校教育1名、環境教育1名)が活動中である。

【要請概要】

1) 要請理由・背景

初等教育省は教育分野の優先課題として、①初等教育の普遍化 ②教育の機会へのアクセスと公平性の改善 ③教育の質の改善 ④教育制度の管理運営の改善 ⑤教育関連機関とのパートナーシップの推進を掲げている。

幼少期からの環境教育に対する意識とモラルの向上、啓発の重要性が見直され、20015年1月から初代環境教育隊員が派遣され、現在2代目が活動中。幼少期の情操教育・環境教育の両面による意識向上の重要性を鑑み、環境教育の更なる啓発促進が求められている。

2) 予定されている活動内容 (以下を踏まえ、隊員の経験をもとに関係者と協議して計画を立て、柔軟に内容を変更しながら活動を進めます)

初等教育における環境教育の効果や重要性の理解促進、地域社会における環境啓発のため以下の活動を行う。

- 市内の学校で環境教育に関連するアクティビティを行う。
- 学校菜園、植林、トイレ管理など生徒主体のグループに対する支援を行う。
- 学校環境の改善(ゴミ箱、トイレ、手洗い、水、リサイクルなど)を行う。
- 市役所、関係機関、団体、地元組織と協力して、地元での環境イベントの企画を行う。

3) 隊員が使用する機材の機種名・型式、設備等

教室(黒板、机、椅子)

4) 配属先同僚及び活動対象者

配属先同僚:県事務所長:男性40代、男・女視学官や秘書など数名40-50代

活動対象者:校長、教員(県事務所管轄小学校)

5) 活動使用言語

フランス語

6) 生活使用言語

フランス語

7) 選考指定言語

英語(レベル:D)又はフランス語(レベル:D)

【資格条件等】

[免許]： ()

[学歴]： () 備考：

[性別]： () 備考：

[経験]： () 備考：

[参考情報]：

- ・ イベント関連での活動経験

任地での乗物利用の必要性

自転車

【地域概況】

[気候]： (熱帯夏季少雨気候) 気温： (20～35℃位) [電気]： (不安定)

[通信]： (インターネット可 電話可) [水道]： (不安定)

【特記事項】

停電断水は、日に1・2度起こることは多々あり、一日中復旧しない場合もある。